

# 山辺町簡易水道事業経営戦略【概要版】

## 1. 経営戦略の背景と趣旨

簡易水道事業運営は、築北簡易水道給水区域及び大蔵簡易水道給水区域に暮らす町民生活はもとより、社会経済の基本的役割を果たしていることから欠かすことのできないものですが、人口減少等に伴う使用料収入の減少、管路・施設等の老朽化や物価高騰による更新投資の増加など、簡易水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。この経営戦略は、経営環境の変化に対応し、次の世代に簡易水道事業を確実に引き継ぐための指針として策定するものです。

中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるよう、計画期間は令和 8 年度から令和 17 年度までの 10 年間とします。

## 2. 基本方針

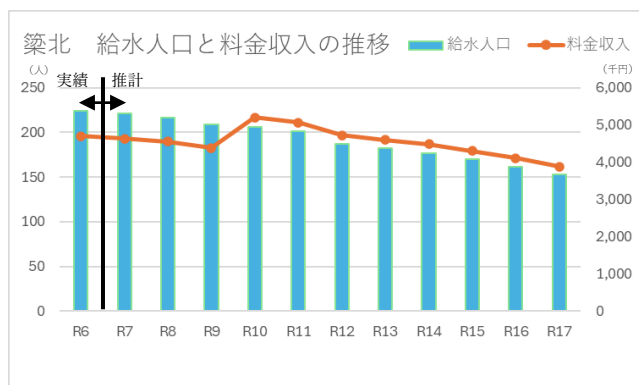
将来にわたり安定的に必要な住民サービスの提供を維持するため、以下の 3 つの基本方針に基づき事業経営に取り組みます。

- ①計画的かつ実現可能な事業執行
- ②効率的な事業執行
- ③収入の確保と負担の適正化

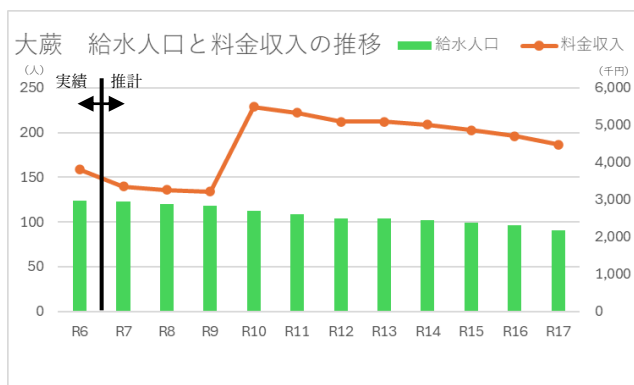
## 3. 現状と将来の見通し

山辺町簡易水道事業は、築北簡易水道給水区域と大蔵簡易水道給水区域に分かれ、それぞれ収支を計算しています。どちらの給水区域も中山間地域に位置することから、人口減少の進行により今後さらなる減収が見込まれます。料金回収率 50%未滿が続いており、受益者負担の原則に基づき料金改定による料金回収率向上が必要であることから、令和 10 年度より料金改定するものとして試算しています。

施設の老朽化が進んでいることから、今後は施設修繕の需要が増加することが見込まれます。簡易水道事業の経営状況から、施設の更新費用を支出することは困難であるため、既存施設を修繕し長期間の運用を行う対応が必要となります。



築北給水区域：R10 より料金収入 20%増



大蔵給水区域：R10 より料金収入 80%増

## 4. 投資財政計画と経営戦略

### 投資についての説明

山辺町簡易水道事業では、施設更新投資を負担することが非常に難しい経営状況となっています。

施設の新規更新やそれに伴う起債を行わず、現在の施設を適正に維持管理するための投資を計画的に行えるよう、既存の施設・設備の適切な修繕工事による長期利用を積極的に進めます。

### 財源についての説明

受益者負担の原則に則り、料金回収率向上のため令和 10 年度に料金改定を計画しています。

築北簡易水道給水区域は現金収支を黒字化して、将来の施設修繕や更新の資金を用意することを目標とし、料金収入を 20%増として試算しています。大蕨簡易水道給水区域では計画期間中に大蕨分の預金黒字化を目標とし、料金収入を 80%増とする計画としています。

これまでも料金・会計システム使用料を一般会計で負担していますが、大蕨給水区域は料金収入によって修繕費を賄うことが困難であることから、令和 10 年度より修繕費を一般会計で負担する計画としています。今後も人口減少による水需要の減少などのため、料金収入は毎年減収となる見込みであることから、一般会計による負担が必要となります。

### 今後検討予定の取組の概要

給水人口の減少に伴い料金収入は減少し続ける見込みのため、今後も水道料金体系等の見直しを検討します。

人口減少により継続的な経営が困難な大蕨簡易水道給水区域については、今後の運営形態の検討を行ってまいります。

## 5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

毎年度、進捗管理（モニタリング）を行い、基本 5 年ごとに計画策定（P）、実施（D）、検証（C）、見直し（A）の PDCA サイクルを効果的に実施し、本戦略の事後検証、更新を行ってまいります。